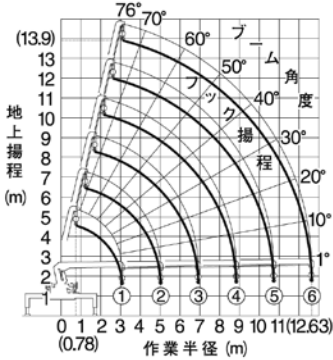


クレーン性能表① : UR-V263(2.63t×1.6m)

空車時定格総荷重 (フックなど吊り具の質量(30kg)を含む)

【単位: t】

作業半径(m)	0.65~1.6	1.8	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	5.0	5.5	6.4
使用ブーム										
①、①+②	2.63	2.23	2.03	1.53	1.18	0.88	0.73	0.58(4.55m)		
①+②+③			1.23(2.80m)		1.13	0.88	0.68	0.48	0.43	0.35

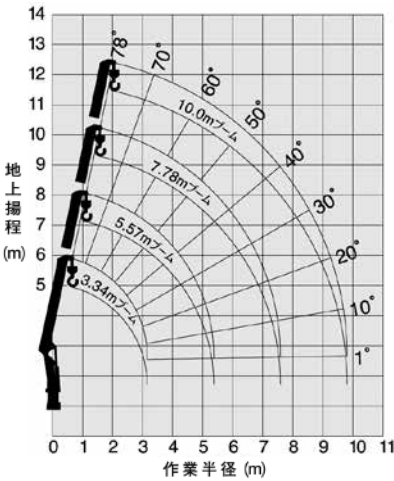


クレーン性能表② : UR-U263(2.63t×1.6m)

空車時定格総荷重 (フックなど吊り具の質量(30kg)を含む)

【単位: t】

作業半径(m)	0.65~1.6	1.8	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	5.0	5.5	6.4
使用ブーム										
①、①+②	2.63	2.23	2.03	1.53	1.18	0.88	0.73	0.58(4.55m)		
①+②+③			1.23(2.80m)		1.13	0.88	0.68	0.48	0.43	0.35



クレーン性能表③ : TM-ZE304(2.93t×2.6m)

空車時定格総荷重 (フックなど吊り具の質量(30kg)を含む)

【単位: t】

作業半径(m)	2.4以下	2.6	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.37
使用ブーム								
①、①+②	2.93	2.93	2.08	1.58	1.23	0.98	0.83	0.78

作業半径(m)	2.7以下	3.2	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	7.58
使用ブーム											
①+②+③	2.33	1.83	1.58	1.23	0.98	0.83	0.73	0.63	0.53	0.50	0.45

作業半径(m)	4.0以下	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	9.8
使用ブーム							
①+②+③+④	1.03	0.83	0.63	0.48	0.4	0.35	0.33

- (注) 1. 上記の性能表は、水平堅土上にアウトリガーを最大に張出したときの値です。従って、アウトリガー中間及び、最小張出し時の性能は本表より低下します。
 2. 車両により架装しているクレーンが異なりますので、ご使用前に必ず実装されているクレーンの性能をご確認ください。

クレーン付トラック使用上のご注意



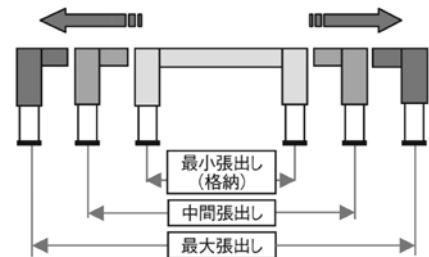
■アウトリガー張出し幅によって変化する作業性能

クレーン付トラックの安定度は、アウトリガーの張出し幅が広いほど高く、狭くなるほど低下します。空車時定格総荷重の性能はキャブバック架装のアウトリガーを最大に張出したときの後方・側方吊りの値です。中間張出し及び、最小張出し状態では性能がこれより低下します。通常のクレーン作業では、最大に張出した状態で作業してください。

■作業領域によって異なる作業性能

前方吊りとは、クレーン旋回中心とアウトリガー受け皿の中心を結ぶ線からトラック運転室側でのクレーン作業をいい、空車時定格総荷重表に表記されている数値の25%以下で作業を行ってください。

後方吊りとは、クレーン旋回中心と後輪中心を結ぶ線の内側になります。



キャブバック架装時

